



#### ①目黒天空庭園

首都高速大橋ジャンクション屋上にあるループ状の庭園。全国初のジャンクション屋上の公園で、グッドデザイン賞等各賞を受賞している。



#### ②目黒富士

江戸時代、目黒川沿いには二つの富士塚があり目黒不動とともに行業の名所として親しまれていた。新富士の手前に描かれているのは三田用水。「名所江戸百景 目黒元不二・目黒新富士」歌川広重(国立国会図書館)



#### ④太鼓橋

広重の「名所江戸百景」にも描かれた橋で、当時は石造りの太鼓橋だった。東側の目黒駅に続く行人坂は、江戸時代は富士見の名所としても知られていた。「名所江戸百景 目黒太鼓橋夕日の岡」歌川広重(国立国会図書館)



#### めぐろがわ 目黒川

#### 桜並木の美しい散策道

世田谷区池尻三丁目付近を上流端とし、目黒区と品川区を東流し品川区東品川一丁目で東京湾に注ぐ目黒川。北沢川と烏山川の合流地点から東京湾までの全長約8kmの河川です。

目黒川は都市化にともない一時は水質が悪化していましたが、桜並木や遊歩道の整備などが行われ、また下水の高度処理水を利用した水量の確保と水質改善も寄与し、今ではかつての魚と野鳥がすむ環境が戻ってきています。

また江戸時代、目黒川流域は將軍家の鷹狩や、目黒不動の参詣、富士塚詣で栄えた場所。広重の録絵でも往時の風景を垣間見ることができます。



#### 目黒川の桜並木

川沿いの歩道には約4kmにわたって桜並木が続き、桜が満開になる季節には、見事な花の回廊が出来上がる。



#### ○古川親水公園

## きゅうえどがわ 旧江戸川



#### ②江戸川水閘門(篠崎水門)

昭和18年(1943)完成。現在も現役の閘門。江戸川と旧江戸川の分岐点にあり、潮水時の海水の進入防止や、上流の水位を確保し都市用水を安定供給することを目的に造られた。

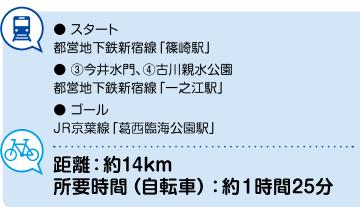


ボニーの乗馬や馬車の乗車を楽しめる。ヤギ・ミニブタとのふれあいコーナーや、遊具広場もある。

#### サイクリングで多彩な公園めぐり

江戸川区篠崎町付近の江戸川から分かれて、東京湾に流れこむ全長約9kmの河川です。その名の示すとおり、昭和5年に江戸川放水路(江戸川)が開削されるまでは江戸川の本流でした。

河口より5km付近で昭和38年に開削された新中川に合流して、東京湾に流れこんでいます。



●スタート 都営地下鉄新宿線「篠崎駅」  
 ●③今井水門・④古川親水公園  
 都営地下鉄新宿線「一之江駅」  
 ●ゴール JR京葉線「葛西臨海公園駅」  
 距離: 約14km 所要時間(自転車): 約1時間25分



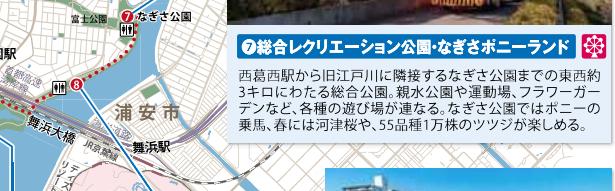
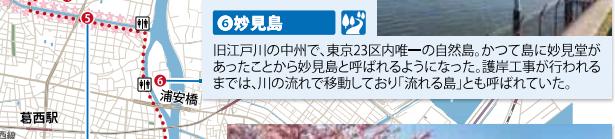
#### ③今井水門

新中川と旧江戸川との合流点にあり、門扉が7門ある防潮水門。新中川は、中川の水を旧江戸川に流すために昭和38年(1963)に開削された人工河川。



#### ○古川親水公園

昭和48年(1973)に整備された、国内初の親水公園。「親水」という新しい概念が注目され、全国の親水公園のモデルとなった。古川は、江戸時代、新川の開削で残った旧流路。



#### ○新川千本桜

両岸に20種類の桜が植えられ、江戸情緒あふれる水辺として整備された桜の名所。新川は、徳川家康が行燈の塙を江戸に運ぶために開削した運河で、江戸川、中川、隅田川を結ぶ水運の大動脈だった。



#### ○葛西臨海公園

水族館をはじめ、海に面した展望広場、人工なぎさなどがあり多彩な楽しみができる。千涸には、さまざまな渡り鳥が飛来し、都内初のラムサール条約湿地に登録されている。



河口付近には、水辺に親しめるよう傾斜の緩い堤防が整備されている。